

トラフィック制御から考える ネットワーク中立性

本日の進行

- 昨今のトラフィック事情 石田
- アイボール側のトラフィック制御 水野
- ネットワーク中立性について 水越
- 最新動向について 全体
- Q&A

議論

最新動向について

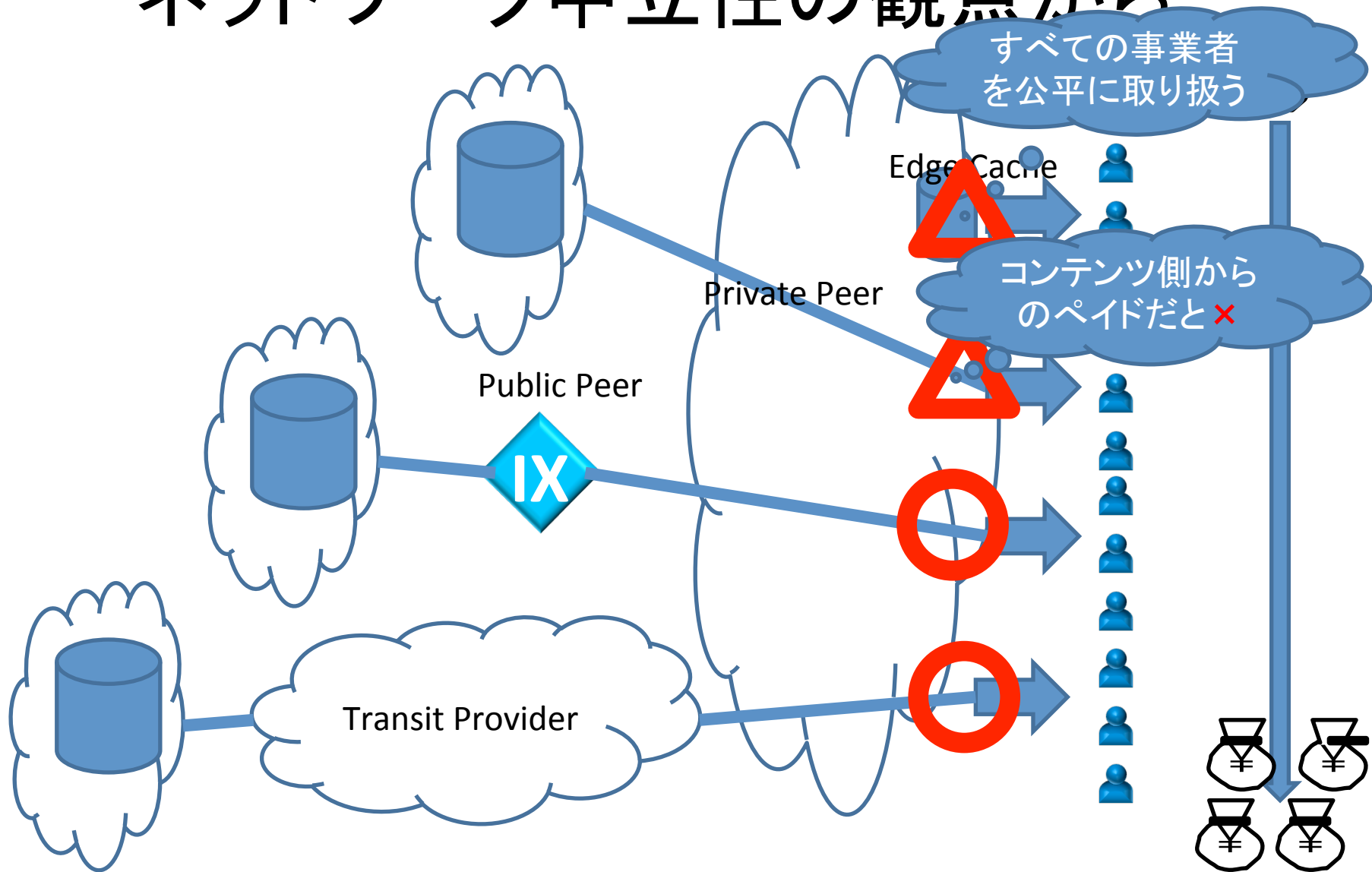
ネットワーク中立性

1. 通信のブロックの禁止 (No Blocking) :
ブロードバンドを提供する事業者は合法的なコンテンツ、アプリケーション、サービス、害のないデバイスをブロックしてはならない。
2. 通信速度の制限の禁止 (No Throttling) :
コンテンツ、アプリケーション、サービス、デバイスの種類によって法的に問題のないインターネットのトラフィックの制限をしてはならない。
3. 有料トラフィックの優先接続の禁止 (No Paid Prioritization) :
特定の通信トラフィックを他のトラフィックに対して、どのような理由があっても優先させてはならない。(言い換えるとファストレーン (Fast lane) 禁止ということであり、このルールはISP事業者の利益となるコンテンツやサービスを優先させることも禁止している)

「米国におけるインターネットの中立性に関する取り組みの現状」／八山幸司／ニューヨークだより2015年4月
<https://www.ipa.go.jp/files/000045549.pdf> より

背景にEyeball側は「自然独占」であるという認識

Eyeball側のトラフィック制御 ネットワーク中立性の観点から



中立性に関わる事情

- 社会・政治的事情
 - 違法コンテンツのブロック
 - 情報検閲
 - 運用上の事情
 - アクセス網の容量の問題から特定のコンテンツやサービスのパケットを制限
 - ビジネス上の事情
 - 自社のコンテンツやサービス利用促進
 - a. 通信事業者に料金を払い優先してもらう
 - b. 特定コンテンツ/サービスを利用した場合、データ課金の対象外とする
- * ゼロレーティングがネット中立性に反するのとも賛否両論



ゼロレーティング

ゼロレーティング

- 特定のアプリやサービスについては課金するトラフィックに算入しない(モバイル事業者が主導)

転じて

特定のプレイヤーが支援して新興国や開発途上国においてインターネット・アクセス(フル・アクセスではなく特定のアプリやサービスへのアクセスのみ)を無料で提供する場面でも言われるようになった

ゼロレーティングと ネットワーク中立性

特定のアプリ／サービスについては
課金トラフィックに算入しない

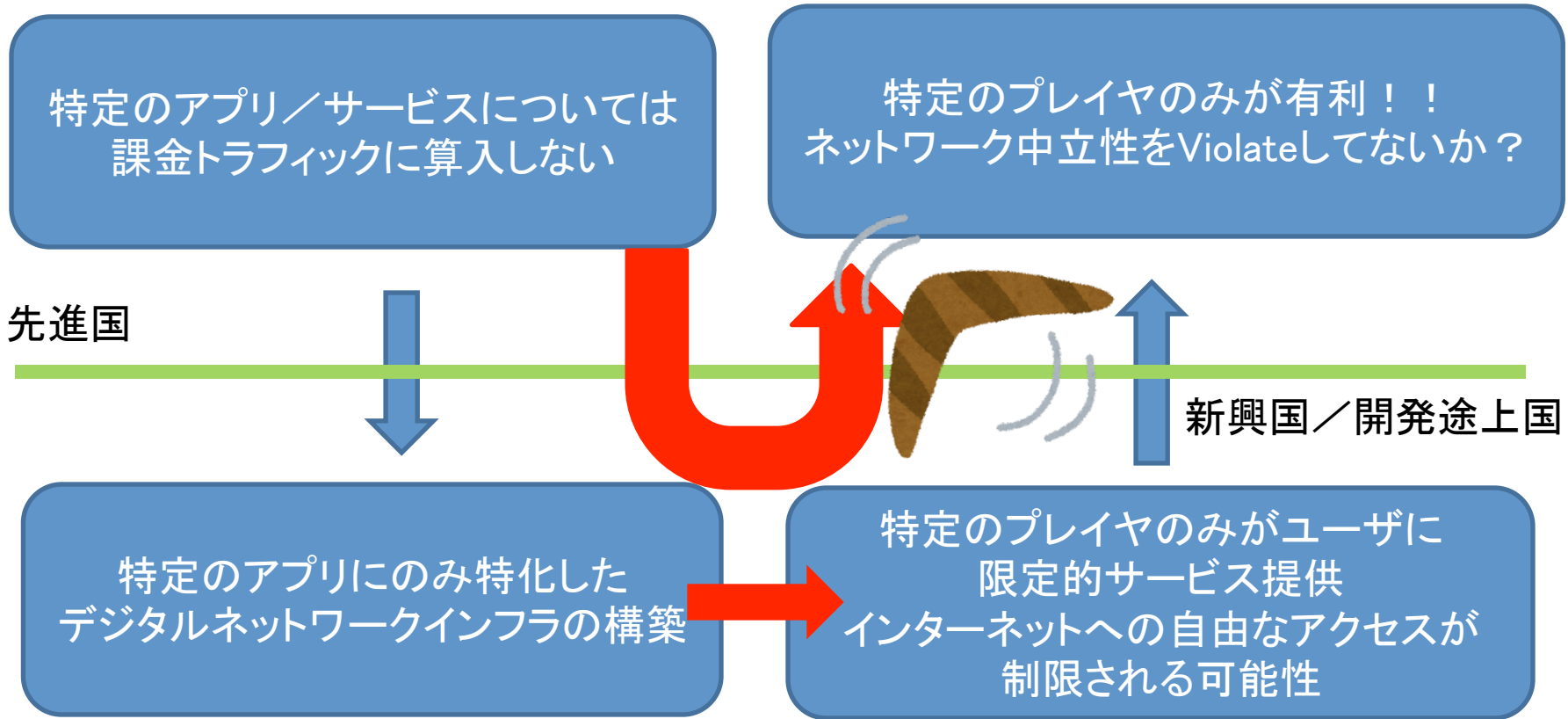
特定のプレイヤーのみが有利！！
ネットワーク中立性をViolateしていないか？

先進国

新興国／開発途上国

特定のアプリにのみ特化した
デジタルネットワークインフラの構築

特定のプレイヤーのみがユーザに
限定的サービス提供
インターネットへの自由なアクセスが
制限される可能性



ゼロレーティングを取り巻く賛否両論

先進国

新興国／開発途上国

賛成

自由な競争:
経済的利点からの選択の自由

自社のコンテンツ促進:
コンテンツ事業者

自社接続サービス促進: に広がる効果を期待
無料コンテンツ・サービスで
ユーザ勧誘

インターネットを知るきっかけ:
経済的理由からアクセスしないと
知る機会もない
その他コンテンツ・サービスの利用

反対

消費者保護:
ゼロレーティング対象以外の
アクセスへの高額な課金・容量制限

公平な選択の阻害:
参照するコンテンツの偏り

Walled Garden:
限られたコンテンツを
インターネットと誤解する危険性

ゼロレーティング

- 認められる？認められない？
デバイスのセキュリティ・アップデート

Windows Update/iOS/Android

IoTのセキュリティ・アップデート

ソフトウェアのアップデート(カテゴリによる？)

違法コンテンツ・ブロッキング情報

ネットワーク中立性 & ゼロレーティング

- Eyeball Networkの構築・維持・運用にはコストがかかる
- 誰が負担すべきか
 - 利用者←従量課金なら。。。
 - コンテンツ側←可能なら
- 誰が強者で誰が弱者か
- 「健全な」競争とは？

最大の懸念

Global Stage を利用した Domestic Regulation への介入

